

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

April 2016
Vol. 44
毎月10日発行



公立高校合格発表 受験生の皆さん、お疲れ様でした。

高木 秀章(塾長)

公立入試が終了し、3月18日合格発表がありました。結果は、川西先生の記事「公立入試を振り返って」に掲載しておりますが、とてもよく頑張りました。おめでとうございます。

しかし、全員が第一志望校に合格できたわけではありません。合格発表の日、肩を落とし、それでも、塾に報告に来てくれた生徒達がいまいました。辛い気持ちを抑えて、報告してくれる姿に、成長した彼らの強さと、頑張り続けた彼らを合格させてあげられなかったという申し訳ない気持ちが入り混じり、どのような言葉をかけてあげればよいのか、悩みました。

努力を続けてきた彼らを見てきただけに先生も悔しい。でも、先生が彼らに言えることは、冷たく感じるかもしれませんが、「さあ、また前を向いて歩け！」ただそれだけです。みんなの受験はこれで終わりではありません。そして、受験で人生が決まるわけでも、みんなの価値が決まるわけでもありません。目の前の苦難から逃げず、立ち向かい続けること。それは、受験に限らず生きることを通じて言える事だと思います。先生達もこの悔しさを胸に、卒業生に負けないように「前を向いて」新たな受験に立ち向かおうと思います。

先日、私の所属している異業種の会で、東北の震災で被害を受けた宮城県の松島高校観光科の生徒を、ホテルニューオータニ大阪に呼び、ホテルの裏側やホテルマンの様子を学んでいただく機会がありました。その時、松島高校の生徒達を前に、ホテルニューオータニ大阪のマネージャーの方がおっしゃった言葉が印象的でした。

マネージャー 「松島高校と他の高校の違いは何ですか？」

生徒達 「・・・」「観光科があること」「職業体験などの授業があること」

マネージャー 「どれも違います。では、皆さんに聞きます。他のホテルとホテルニューオータニ大阪の違いは何でしょうか？」

生徒 「・・・？」

マネージャー 「それは、私がいることです。ホテルニューオータニ大阪には私があります。私はお客様に必ず満足と喜びを与えます。このホテルニューオータニ大阪と他のホテルの違いは、私がいるということです。」

生徒 「・・・?!」

マネージャー 「これから皆さんはホテルを始め様々なサービス業に巣立っていくと思います。その時、大切なことは、ここに私がいる。私は必ずお客様に喜びと満足を与えてみせるというプライドです。松島高校と他の高校の違いは、松島高校には素晴らしいあなた達がいるということです。」

ホテルニューオータニ大阪が素晴らしいのは、素晴らしいホテルマンの方達がいるからです。そして、彼らはホテルの仕事を通して、「人に喜びと満足を与える」という志を持っています。

3月に入り、大学受験が終わり卒業生が続々と、大学の合格を知らせて来てくれています。卒業した塾のことを気に留めてくれ、挨拶に来てくれることも嬉しいし、そういうことをきちんとできる立派な青年に卒業生が成長してくれていることも心から嬉しく思います。

中には、カイチ個別のアルバイトの面接にも来てっていますが、私がカイチ個別のアルバイトにできるだけ卒業生を採用しているのには理由があります。それは、卒業生がカイチ生の身近なモデルになると考えているからです。今年も卒業生達の多くが、難関国立や私立大学を合格しています。そして、一目見ていただければわかりますが、若くて利発な彼らは輝いています。カイチ生みんなが、自分の今の努力が、近い将来のこのような姿につながっていると感じられる。そして、そんな彼らからのアドバイスから得られるものは、私達の説教じみた話より、はるかに親近感があり、刺激になると思います。

また、卒業生にとっても、教えられていた塾で、教える立場になることで学ぶことも多いと思います。塾という仕事は、子供達や保護者の喜ぶ顔がすぐに見える職場です。子供達を前向きにしたい、やる気を与えたい、成績を伸ばしてあげたい、そんな日々の積み重ねが、将来の仕事について考える何かのきっかけになってくれればと考えています。

最後に、卒業生の日高翔己君の話を。野球少年の日高翔己君は中学1年生で高知県の野球の名門明德義塾中学へ。夏休みに帰ってきたときには、寮の生活も練習も猛烈にきついと言っていました。高校3年生の夏、甲子園のベンチ入りメンバーに。大好きな野球で甲子園に行くため単身高知に行き、甲子園へ。新聞で彼の名前を見つけた時、鳥肌が立ちました。まずは、自分は無理だと思わず、強い思いを持つこと。「甲子園に出たよ！」精悍な青年になって、自分の成長を報告に来てくれたことに、とても感激しました。





CLASSROOM REPORT 教室レポート

関目教室 新学年!

気持ち新たにみんな頑張ってます!!

福井 幸司 (関目教室)



こんにちは。関目教室副教室長の福井幸司です。私自身カイチに入社したのが昨年の6月。子供達との付き合いはまだ1年に足りませんが、カイチの子供達の元気の良さや先生たちのバイタリティーには本当に驚き、自分なりですがそれに負けないよう頑張ってきました。今回は、私の担当クラスの学習部とパスカルキッズの教室の様子、私が感じていることをお伝えします。

3月18日に公立高校入試の合格発表がありました。関目教室からは天王寺高校と四條畷高校に文理学科での合格者を出すことができました。また、公立高校ではありませんが、国立の大阪教育大平野や私立の最難関校である西大和学園の合格者を出すこともできました。その他にも公立・私立を問わず、有名な学校への合格者を出すことができ、卒業生の頑張りを称えたいと思います。結果に関わらず、真剣に勉強をし、自分で決めた志望校に挑む姿は本当に尊いものです。全員胸を張って次の3年間も頑張ってもらいたいと思います。

さて、新年度を迎えた関目教室の様子ですが、まず、先生が増えました。若い松尾先生、それから、忙しい中学部の時間帯には、事務の野間先生も加わり、いっそうきめ細かな指導ができるようになると思います。教室

だけでなく、事務所にも活気があります。

新年度を迎え小学部の子供達は、とにかく盛り上がっています。授業はちょっとしたことで笑いが起き、かといって、漢字テストを始めとする小テストは確実に合格する。まだまだ幼い所はもちろんありますが、育て甲斐のある子供達です。私達としては、小学校の間に、変化している受験に対応する基礎能力を育成できるよう、算数では「難問」への取り組み、国語では文学作品鑑賞の指導に力を入れたいと考えています。

中学部は、年ごとに進学実績が伸び、今年度は全教室でトップ10校合格者が15名。文理学科合格が内6名。全体人数から考えると、大手進学塾に決して引けを取らない数字であると思います。また、トップ校だけでなく、各生徒が成績を伸ばし各自の志望校合格を果たしていると思います。決してギスギスすることなく、多くの生徒がクラブをし、時には先生達と雑談を楽しむ? けじめがある中で伸び伸び学習している雰囲気は私は好きです。

中学生の子供達の間(特に中3)では、そのような先輩の様子や小幡先生を始めとする、卒業生の講師の先生達と接する中で「自分も頑張れば同じような高校に合格できるのでは」という意識が高まっているように思い

ます。中学の早い時期に目標を持つことで、日々の学習に取り組む姿勢は大きく変わります。このようなムードはとても大切であると思います。

最後にパスカル・キッズですが、持ちあがりの小3生が非常に多く、時には仕組みに慣れた「ベテラン」が新しく入ってきた子供達のお世話をしてくれることも。そのため、学年が違っていても仲の良い雰囲気の中で勉強できています。私は、今まで算数・数学のスペシャリストとして20年以上、子供達を指導してきましたが、このパスカルキッズを通して身に付く思考力には目を見張るものがあると思います。現在カイチ全体で140名のパスカル生がいますが、たくさんの方が来られることも願います。特に、大学入試の制度が変わり、受験で問われる力が変わる中で、パスカルで身に付く論理的に考える力や、考える持久力が付くことは非常に重要であると思います。

教室紹介は以上ですが、講師一同、今年度も精一杯、子供達の学力・珠算技術の向上に努力してまいります。何かご相談がある時は遠慮なくおっしゃってください。新年度もどうか宜しくお願いいたします。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

公立入試を振り返って

川西 久志 (今福教室)

公立の入試問題が新聞で発表になりました。詳しくは各教科主任からの説明を別紙に入れましたが、制度的には評価が絶対評価から絶対評価に変わったことや、10月の大阪市統一テストの成績によって内申点が振り分けられるなどの制度変更により、学校間の差はあるにせよ、内申点が全体的に高止まりした印象がありました。更に、トップ10校では内申と入試本番の入試合計点の比率が4:6から、3:7になったこともあり、本番の入試でいかに得点を取るかがポイントとなりました。

入試問題に関しても、前期日程と後期日程の入試が統一日程となり、さらに英・数・国の三教科に関しては、A・B・Cの3つのレベルに分けて実施されるなど、入試問題の傾向と難易度が、従来の前期・後期入試とどのように変化してくるのかに大きな注目が集まりました。

結果としてはA・B問題は従来の入試問題に比べ易しくなり、トップ10校をはじめ上位校が採用するC問題は、国語と英語は昨年度の公立前期と同等レベルと難易度が高く、活用型の問題も高配点で出題されました。しかし、数学に関しては大阪府入試問題のレベルがもとから高いこともあり、変化は少なかったように思われます。理科・社会は全学校共通問題ということもあり、難易度は高くありませんが、文書量が増え、しっかり読んで考えさせる、活用力を問う段階にある情報の収集と整理の力を問おうとしている意図が伺えました。

教科ごとの傾向と対策については、詳しく別冊資料でお伝えしますが、教科を問わず、学力の地力である「読解力」が求められていることは確かです。読解力については一朝一夕でつく力ではありません。小学低学年からの読書習慣の有無が、今後の子供達の受験の合否を左右するのでは、と考えられます。

公立高校合格 おめでとうございます

高校入試結果

●天王寺 (文理) 1名	●東 (普通) 14名	●都島工 (建築) 1名
●四條畷 (文理) 2名	●枚方 (国際教養) 1名	●都島工 (機械) 1名
●高津 (文理) 3名	●旭 (国際教養) 2名	●門真なみはや (普通) 4名
●教育大平野 1名	●布施 (普通) 2名	●桜宮 (普通) 3名
●四條畷 (普通) 4名	●大阪市立 (普通) 3名	●市立西 (流通) 1名
●高津 (普通) 5名	●枚方 (普通) 1名	●柴島 (総合) 2名
●寝屋川 (普通) 4名	●OBF (グローバルビジネス) 2名	●汎愛 (普通) 6名
●清水谷 (普通) 5名	●旭 (普通) 5名	●港 (普通) 1名
●東 (理数) 1名	●山本 (普通) 1名	●淀川工科 (総合) 1名
●府立高専 (総合) 1名	●都島工 (理数) 2名	●緑風冠 (普通) 1名
●東 (英語) 1名	●芦間 (総合) 2名	●守口東 (普通) 1名
●市岡 (普通) 5名	●桜宮 (スポーツ) 2名	●城東工科 (工業) 1名
●今宮 (総合) 1名	●都島工 (電気電子) 3名	●茨田 (普通) 3名

計 100名

COLUMN: 先生紹介 ▶ 島 由美 (古市教室)



こんにちは。古市教室、珠算講師の島と申します。このコラムが皆様のお手元に届くのは新学期が始まり少し落ち着いた頃だと思います。さて何について書こうかな・・・新学期のエピソード・・・新学期ではないですが、新入社員の時の失敗エピソードがあります。それは、初めて配属された職場で自己紹介をしたときのことです。全体集会の演台に立って、多くの人を前にした

ら、急に足が震えて、小さな声で配属先と自分の名前を述べただけで、言葉が出なくなりました。そして、沈黙に耐えかねて「ははははは」と笑ってごまかしてしまいました。すると、冷たい空気が一変し、重苦しい雰囲気になりました。その時は、なぜこのようになったのかわかりませんでした。それが、つい3年ほど前、オープンキャンパスで気づきました。ある生徒さんが学校紹介をされるときに、緊張のあまり笑ってしまったのですが、「何を笑っているのか」「何をふざけているのか」という冷たい空気が流れ、あの時と同じ雰囲気になり、はっと気づきました。立場を変えることで、気づくことがたくさんあると思います。指導も同じで、一方的に教えるのではなく、子

供達にも考え、気づかせる指導を心がけています。

話は変わりますが、そろばん教室でたまに間違えることを恐れて(答案にバツをされるのが嫌なだけかもしれませんが)、慎重に珠を置くお子さんがおられます。丁寧に一つ一つ確実に正確に取り組むことも重要ですが、珠算に関しては、どちらかという早く珠を置くの方が重要です。それは、リズム良く速く置くことで、自然に指が動くようになり、珠の動きを頭の中でもイメージできるようになります。そして、暗算では、頭の中でそろばんをはじくことができるようになります。

新学期になり、環境が変われば、色々新しい経験が増えます。たくさん経験から、多くの学びがあると思います。そこから、一回りも二回りも大きく成長してください。



マナロのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE マナロ 恭子 (パスカルキッズ上本町教室)

トーキングキッズ始まりました!

トーキングキッズが開講して3週間が経ちましたが、生徒達の優秀さにとても驚いています。レッスン初日の内容は、ほとんど体験レッスンと同じでしたが、体験レッスンから1週間以上も過ぎていのに、しっかりと覚えていて元気に発言してくれました。改めてこのトーキングキッズの教授法の効果を実感しました。

また、毎週ライティングの宿題と、レッスンでやった内容を毎日CDで聞いてリピート練習をする宿題が出ます。それに加え、生徒達にはフリー英語ノートを渡しており、ライティングの自主練習、そしてYouTubeの英語の歌や動画、NHKの英語の番組、英語のアニメなどを見たりと、とにかく毎日英語に触れる時間をとるよう勧めています。そして『ホームワークカレンダー』に宿題や自主勉強の内容を書き込み、毎週先生がチェックします。なんとほとんどの生徒が毎日CDでリピート練習をしていて、半数以上の生徒が自主勉強もしているのに大変感心しました。

そして3月の中旬から順に外国人講師のファッサーリ先生が各教室を回ってくれています。第1回目は諸口教室で、内容は挨拶と自己紹介。LEクラス(低学年)の生徒は1年生1人。わけが分からなくて泣き出したりしないかと私の方が不安でした。最初はファッサーリ先生の質問に答えられず、目で私に助けを求めていましたが、レッスンの中間ぐらいになってくると私を見ることもなく、堂々と50分の授業をやったのけました。素晴らしい!ファッサーリ先生も私も拍手喝采でした。次のHEクラス(高学年)は5人でしたが、やはり最初はアタフタアタフタ。皆の頭の上にたくさんマークが見えてきましたが、ファッサーリ先生の粘り強い指導と、生徒同士の助け合いもあって、頭の上のマークが薄れてきた頃には、ファッサーリ先生とも打ち解けて楽しそうでした。なんとか理解しようという真剣な眼差しが素晴らしかったです。

来週は今福、関目、今津と回っていく予定ですが、ファッサーリ先生とのレッスンはいかがでしたでしょうか。「ちっとも分らなかった」とがっかりしないでください。それが普通な

のですから。心配しなくてもこれから少しずつ理解できるようになってきます。「継続は力なり」。今のあなた達に最も効果的な英語勉強法は英語の音を耳に入れることと発音することです。たくさん英語を聞いたり話したりすることで脳に英語の思考回路ができてきます。来月から「5 minutes challenge」といって、今までに学習した何通りもの質問に5分間でいくつ答えられるか各教室、各クラスごとに競い合います。楽しみにしておいてくださいね。



▲生徒も講師も身ぶり手ぶりで話す教授法。



▲毎日、英語を勉強した週はスペシャルシールがもらえる。

カイチからのお知らせ

- 4月12日(火)は中学部の授業は休講です。但し、個別クラスはありますのでご注意ください。
- 4月15日(金)より中学3年生のフリーラーニング第1タームがスタートします。
- 4月24日(日)は春の遠足です。みんなでユニットピア篠山で楽しみましょう。